

高島屋東京店で東通村産品をPR！



来場者へ村特産品をPRする越善村長（左）と三國組組合長（右）

去る6月2日（水）から8日（火）まで、株式会社高島屋東京店（東京都中央区日本橋）の地下1階食品売場「味百選コーナー」において、「味百選青森県東通村名産品特集」が開催され、尻屋漁業協同組合、野牛漁業協同組合、東通村産業振興公社の3社が、東通村として出展しました。

この度の出展は、今年1月末にも開催されましたが、その際、お客様にとっても好評であったことから、同店から村に対して、是非、再度出展してほしいとの依頼があり実施したものです。開催初日には、越善村長が同店へ出向き、村長自ら先頭に立って、野牛漁協の三國代表理事組合長とともに、来場者に対し粗品のプレゼントと村産品の販売・PRを行いました。

尻屋漁業協同組合からは「天然活あわび」、「浜ゆであわび」、「粒ウニ」、「塩水生うに」、「冷凍まつも」、「だしこんぶ」、「干ふのり」などを、野牛漁業協同組合からは「ホタテの佃煮」、「ホタテ干し貝柱」、「ホタテ冷凍生貝柱」、「ホタテの水煮」を、東通村産業振興公社からは「ピフテキジャーキー」、「ピアシンケン」、「ウインナー」、「ブルーベリージャム」などを、それぞれ出品しました。

お客様の中には、「前回の催事で買って美味しかった」ということで、再度購入いただいた方も多数おりました。また、「東通村というのはどこにあるの」というお客様には、村の観光パンフレットを用いて観光PRも行いました。東通村じまんの海の幸およびその加工品、村産の黒毛和牛を使用した加工品に対して、多くのお客様が関心を示し購入していきました。その結果、前回を上回る売上があり、今回も好評のうちに終了しました。村としては、引き続き、村内で生産された安全・安心な食材を活かした商品の開発、販売を支援して参りたいと考えております。



賑わいを見せる東通村の催事場（高島屋東京店 地下1階）